

借金の強制取立反對論等の件

今日米の価格がいくら高くても、昔々の手許には賣る米は一台もなく既に益アトサキから飯米を真似ねばならぬみじめさである。今日米が高ければ高い程昔々の替しは苦しくなる一方である。副の値上りも抑立級の少くない昔々の兼工台をよくすることは出来ず殊に晩秋級のやうに盛が属つては種代と樂代とを差引けば全くタビレ儲りである。

昔々は高い小作米を搾られ農作物はべラ安にたたかれ浮ふ願は盡くない。そこに債鬼は米、副高に勢を得たものの矢の催促でつり廻る。銀行債鬼、信用組合債鬼、高利貸債鬼、願母子債鬼が昔々の前にも後にもつり廻つてゐる。信用組合では何れも有忠の借金はその儘にして、~~い~~いて今日暮しし昔々を襲つてゐる。願母子協會では自分の小正は初に上げて借金の取立てに狂奔してゐる。

昔等は昨年の早番の満手未だ癒えざるに今年亦昨年に劣らざる凶作に見舞はれてゐる。斯く悲惨のドン底にある時果して借金を拂へようか、昔々は借金強制取立に反對た

銀行方法

債権者に交渉して支拂期限、利率を圖ふ

青年部婦人部創立の件

説明 略

部落世話役活動に關する件

説明 略

電燈、電力値下運動に關する件